



いんばぬま豆知識シリーズ

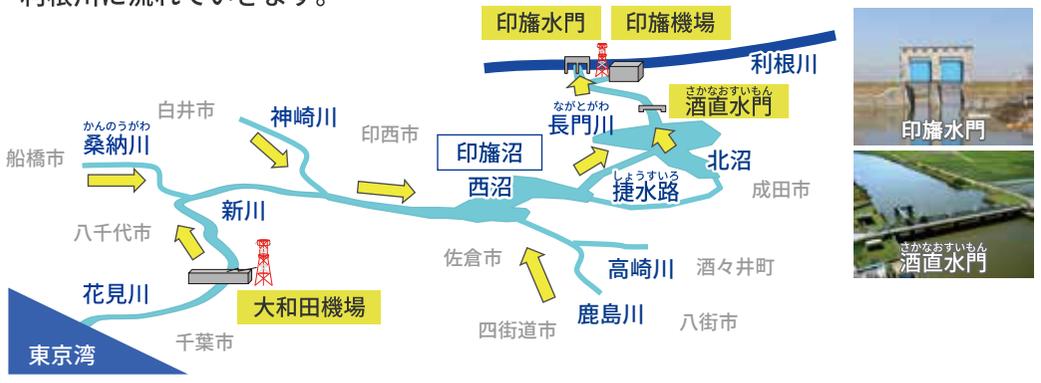
洪水排水編



印旛沼流域に降った雨はどうなるの？

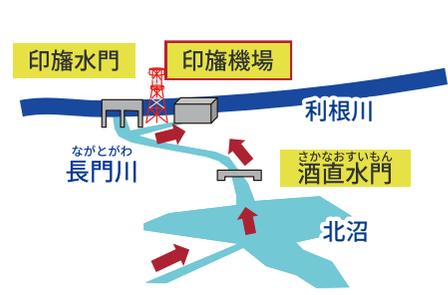
ふだんの流れと洪水の初期段階

酒直水門・印旛水門を通り、雨は自然に利根川へ流れます。印旛沼流域（船橋市・鎌ケ谷市の一部や千葉市緑区なども含む）に降った雨は昔から自然の勾配で利根川に流れていきます。



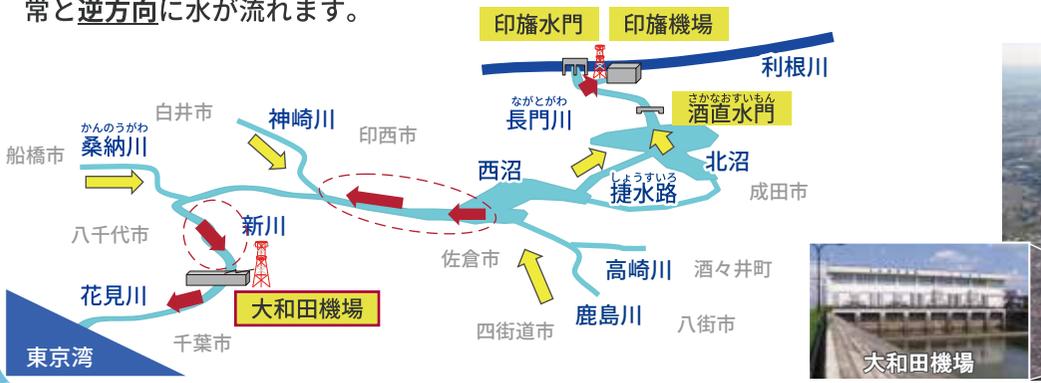
洪水中期 (利根川が水位上昇)

大雨で利根川の水位が上がってくると、印旛水門を閉めて印旛機場によるポンプ排水を行います。昔は利根川の水が印旛沼へあふれてきましたが、現在は利根川へのポンプ排水を行って洪水を防ぎます。



さらに洪水が多くなると...大和田機場による東京湾へのポンプ排水を行います

さらに流域の雨が沼に大量に入ってくると、西沼の水を効率よく排水するため、大和田機場のポンプ排水によって花見川を通じて東京湾へ排水します。このとき新川は通常と逆方向に水が流れます。



近年の気候変動や沼周辺の都市化によって、雨が降ってから沼に洪水が入ってくるまでの時間は年々早くなり、その量も雨の強度に応じて増加しています。このため印旛沼の水をあらかじめ下げる「予備排水」を行ったり、沈下した沼堤防のかさ上げ工事や、流入する河川の改修工事などで洪水被害を防止する取組を行っています。



水がささえる豊かな社会



独立行政法人 水資源機構

Japan Water Agency みずしげんきこう

独立行政法人 水資源機構

千葉用水総合管理所

八千代市村上3139(大和田機場横)

☎(047)483-0722

🔍 千葉用水 検索

